

## 発刊に当って

当所は、昭和43年に発足以来青森県沿岸の増養殖に関する調査研究にたずさわって参りました。この間、複雑に変貌する社会情勢に対応して調査研究の内容も少しずつ変遷して来ました。

特に昭和53年度と言う年をふり返ってみますと、昭和50年以来猛威をふるっていたホタテガイの異常へい死もようやく対策が効を奏し始め、陸奥湾のホタテガイ生産量が昭和52年を底として上向きに転じた記念すべき年となりました。しかし、ホタテガイの脂溶性貝毒が大きな問題となり、その調査にふり廻される年でもありました。また前年から始まった200海里問題がいよいよ顕在化し始め、沿岸漁業再開のための調査研究が急増し、少ない人員で多くの調査研究の対応を余儀なくされ始めた年となりました。

本誌は、このような重圧化で実施した調査研究結果であるために、中には疎漏のそしりをまぬがれないものも混っているかも知れませんが、所員一同が精一杯頑張った一応の成果と考えております。何とぞ諸賢の暖かいご叱正とご指導をお願いいたします。

昭和 55 年 3 月

青森県水産増殖センター所長

伊 藤 進